農業集落排水施設設計指針　令和２年度改訂版　正誤表

令和６年 11 月

農業集落排水事業諸基準等作成全国検討委員会

正誤箇所

本編　P.17

第３章
設計の諸元

3.2　計画処理対象人口
3.2.2.更新整備に当たっての計画処理対象人口
 2.実流入汚水量に基づき算定する方法
(2)汚水処理施設の時間最大汚水量（新設に同じ）

本編　P.462

第 13 章
汚水処理施設の設計

13.3　汚水処理施設の更新整備計画
13.3.1.更新整備方式の検討
1.更新整備方式の選定手順
(3)槽容量の比較

誤

(2)　汚水処理施設の計画時間最大汚水量（新設に同じ）

＝2.5×(Qp－30)/0.8＋30 又は過去１年間の実績時間最大汚水量

(3)　槽容量の比較

表 13-3-4　汚水処理方式別槽容量の比較表（例）

型　式	槽容量（滞留時間（単位：hr）で表示）						
	流量調整槽 脱窒槽	沈殿分離槽 最初沈殿槽	嫌気性 ろ床槽	接触 ばっ気槽	回分槽 ばっ気槽 硝化槽	沈殿槽	計
Ⅰ型		20		18		4	42
Ⅱ型			36	19		4	59
Ⅲ型	6		24	9		3	42
Ⅳ型	6		24	19		3	52
Ⅴ型			36	9		4	49
ⅩⅠ型	7（10）				22		29 (32)
ⅩⅡ型	7（10）				27		34 (37)
ⅩⅣ$_G$ 型及び ⅩⅣ$_{GP}$型	6				18	4	28
ⅩⅣ$_R$型	6	3			16	3	28
ⅩⅣ$_H$型	6				27＋1	4	38
膜方式	10				6		16

注１）（　）内は１槽構造の場合である。
注２）型式欄の表記は，JARUS 型農業集落排水処理施設の型式名である。

正

(2)　上記(1)で求めた日平均汚水量（Qp）と、新設と同じく汚水処理施設の計画時間最大汚水量設計諸元である 780L/(人・日)　を用いる。

汚水処理施設の時間最大汚水量（m^3/時）

＝ 780L/(人・日)×10^{-3}×Qp /0.27÷24時間/日

＝ 0.78×Qp /0.27×1/24

又は過去１年間の実績時間最大汚水量

(3)　槽容量の比較

表 13-3-4　汚水処理方式別槽容量の比較表（例）

型　式	槽容量（滞留時間（単位：hr）で表示）						
	流量調整槽 脱窒槽	沈殿分離槽 最初沈殿槽	嫌気性 ろ床槽	接触 ばっ気槽	回分槽 ばっ気槽 硝化槽	沈殿槽	計
Ⅰ型		20		18		4	42
Ⅱ型			36	18		4	58
Ⅲ型	6		24	9		3	42
Ⅳ型	6		24	18		3	51
Ⅴ型			36	9		4	49
ⅩⅠ型	7（10）				22		29 (32)
ⅩⅡ型	7（10）				27		34 (37)
ⅩⅣ$_G$ 型及び ⅩⅣ$_{GP}$型	6				18	4	28
ⅩⅣ$_R$型	6	3			16	3	28
ⅩⅣ$_H$型	6				27＋1	4	38
膜方式	10				6		16

注１）（　）内は１槽構造の場合である。
注２）型式欄の表記は，JARUS 型農業集落排水処理施設の型式名である。

正誤箇所

本編　P.463

第 13 章
汚水処理施設の設計

13.3　汚水処理施設の更新整備計画
13.3.3.改築計画の策定に当たっての留意点
1.計画汚水量
(2)汚水処理施設の時間最大汚水量（新設に同じ）

参考資料編　P.987

98. 室内温度上昇の抑制に必要な換気量の検討例

表-98-4 吐出空気温度差（Δｔ）（例）

参考資料編　P.996

103. 非常用発電設備の容量計算例

（2）発電設備機器容量
1）発電機容量
ア）発電機出力
④許容逆相から必要とする容量ＰＧ４

（3）原動機容量
1）動機出力（Ｐc）
②最大容量の電動機を最後に始動するために必要とする容量Ｐc2
ａ）許容負荷投入により求まる容量

誤

(2)　汚水処理施設の計画時間最大汚水量（新設に同じ）

＝2.5×(Qp－30)/0.8＋30 又は過去１年間の実績時間最大汚水量

表-98-4　吐出空気温度差（Δｔ）（例）

ブロワ口径 mm ＼ 回転数 min^{-1}(rpm) ＼ 吐出圧力ＭＰａ			温度差 ΔｔＫ 0.3	0.4	0.5	0.6
40，50	1	1,000	26.5	48.6	93.8	201.2
	2	1,150	18.0	30.2	57.7	89.6
	3	1,300	13.8	22.7	47.0	60.8
	4	1,450	10.9	15.0	35.9	42.6
	5	1,600	9.3	13.4	30.1	30.2
	1	850	11.5	18.8	37.8	38.9

実用式は以下のとおり

$$PG_4 = \frac{1}{PG_4}\sqrt{(0.432R)^2 + (1.23\Delta p)^2(1-3u+2)} \quad (kVA)$$

表-103-4　投入負荷減少係数（ｆｖ）の値

	原動機の種別	発電機の極数	$P_m/\Sigma P_0$ 0～	0.8	.9	1.0
PG_3用 f_{v1} P_{C2-2}用 f_{v2}	ディーゼル機関	2	1.0	0.90	0.85	0.8
		4 以上	1.0	0.95		0.9
P_{C2-2}用 f_{v3}	ディーゼル機関	2	0.9	0.85		0.8
		4 以上	0.9			

正

(2)　上記(1)で求めた日平均汚水量（Qp）と、新設と同じく汚水処理施設の計画時間最大汚水量設計諸元である780L/(人・日)　を用いる。

汚水処理施設の時間最大汚水量（m^3/時）

＝ 780L/(人・日)×10^{-3}×Qp /0.27÷24時間/日

＝ 0.78×Qp /0.27×1/24

又は過去１年間の実績時間最大汚水量

表-98-4　吐出空気温度差（Δｔ）（例）

ブロワ口径 mm ＼ 回転数 min^{-1}(rpm) ＼ 吐出圧力ＭＰａ			温度差 ΔｔＫ 0.03	0.04	0.05	0.06
40，50	1	1,000	26.5	48.6	93.8	201.2
	2	1,150	18.0	30.2	57.7	89.6
	3	1,300	13.8	22.7	47.0	60.8
	4	1,450	10.9	15.0	35.9	42.6
	5	1,600	9.3	13.4	30.1	30.2
	1	850	11.5	18.8	37.8	38.9

実用式は以下のとおり

$$PG_4 = \frac{1}{kG_4}\sqrt{(0.432R)^2 + (1.23\Delta p)^2(1-3U+3U^2)} \quad (kVA)$$

表-103-4　投入負荷減少係数（ｆｖ）の値

	原動機の種別	発電機の極数	$P_m/\Sigma P_0$ 0～	0.8	.9	1.0
PG_3用 f_{v1} P_{C2-1}用 f_{v2}	ディーゼル機関	2	1.0	0.90	0.85	0.8
		4 以上	1.0	0.95		0.9
P_{C2-2}用 f_{v3}	ディーゼル機関	2	0.9	0.85		0.8
		4 以上	0.9			